

1. 本授業科目の基本情報

科目名(コード)	基本情報技術システム I (TDB140)	配当学年	1
講義名(コード)	基本情報技術システム I (TDB140)	単位数	2
対象学科	グローバルビジネス	時間数	30
対象コース	デジタルビジネス	講義期間	春
専攻		履修区分	選択必修
授業担当者	吉田幸弘 氏	授業形態	講義
成績評価教員	居山 喜彦	実務者教員	はい
実務者教員特記欄	長年IoT実務にかかわってきた元企業経営者		

2. 本授業科目の概要

目的(位置づけ)	ITイノベーションの基盤技術の基礎を学ぶ
到達目標	半導体、センサー、IoTなどの技術の基礎を理解し、必要に応じ検索サーチにより、復習やupdateができるようになる
全体の内容と概要	
授業時間外の学修	
履修上の注意事項	
特記事項	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識(期末試験点) 60%	自己管理力(出席点) 30%	協調性・主体性・表現力(平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率×0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画			
回	日程	講師	授業内容
1	2023/4/18	吉田幸弘 氏	デジタル・ビジネスの背景 ～コロナの影響、世界と日本の動向について、Cyber化
2	2023/4/25	吉田幸弘 氏	半導体の概要 ～デジタル・ビジネスの基礎 半導体が切り開くIoT、AI
3	2023/5/2	授業なし	
4	2023/5/9	吉田幸弘 氏	IoTの基礎 ～IoTの基礎知識、実情、動向
5	2023/5/16	吉田幸弘 氏	IoTとDXの関係 ～DXの概要、DXのStep展開
6	2023/5/23	吉田幸弘 氏	IoTの課題 ～3つの視点、IoTプラットフォーム、標準化
7	2023/5/30	吉田幸弘 氏	IoTの技術 ～様々なセンサー、通信方式 (Bluetooth, WiFi, LPWA, 5Gなど)
8	2023/6/6	吉田幸弘 氏	IoTのコンピュータ・クラウド技術 ～オンプレとクラウドの比較、ビッグデータ活用、セキュリティ
9	2023/6/13	富士通 木村様	会社概要・事業概要 最近の社会課題とプロジェクトテーマ
10	2023/6/20	富士通 木村様	IoTプラットフォーム 導入事例と顧客価値
11	2023/6/27	吉田幸弘 氏	IoTの活用事例とデジタル・イノベーション ～さまざまな分野における導入事例、次世代IoTの究極の姿
12	2023/7/4	吉田幸弘 氏	AIの概要 ～基礎知識、推定原理、得意分野/苦手分野
13	2023/7/11	吉田幸弘 氏	AIの応用、活用事例 ～最新トレンド (ディープフェイク)、最新Chat事例
14	2023/7/18	吉田幸弘 氏	評価テスト・課題論文作成
15	2023/7/25	吉田幸弘 氏	評価結果振り返り

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	
参考文献・資料等	
備考	